

経済産業省ガス安全室からの暴風雪と大雪に関する注意喚起の依頼について

気象庁より、28日から30日にかけて暴風雪と大雪予報があったことを受け、経済産業省ガス安全室より災害対応体制について改めて徹底されるよう依頼がありました。

会員事業者の皆様におかれましては、事前の準備及び対策等については万全の体制で臨むこと、また災害発生・被害発生等あった場合には速やかに連絡頂けますよう、お願い致します。

【今回のポイント】

低気圧の影響で海上を中心に広い範囲で非常に強い風が吹くおそれ、特に北日本では暴風雪に警戒。一時的に強い寒気が入り、九州と四国の山沿いでも積雪となり、特に北陸地方を中心に降雪量が多くなるおそれ。

【概況】

29日は前線を伴う低気圧が発達しながら日本海を東進し、北日本へ接近し、また別の低気圧が北日本の東海上を北東に進む見込み。30日頃にかけて日本の上空に強い寒気が流れ込み、一時的に強い冬型の気圧配置となる。

【暴風雪・暴風・高波】

28日夜には西日本では風が強まり、日本海側の海上を中心に暴風となるおそれがあり、海上はしける。29日から30日頃にかけて、北日本と東日本から西日本にかけての日本海側では、海上を中心に雪を伴い非常に強い風(20m/s以上)が吹き、大荒れや猛ふぶき、海は大しけ(6m以上)となるおそれがある。

【大雪】

29日から30日頃にかけて北日本、東日本の日本海側を中心に大雪となるおそれがあり、西日本日本海側でも降雪となり、九州と四国の山沿いでも積雪となるおそれがある。

【警戒事項】

猛ふぶきによる視程障害、吹きだまり、暴風や高波、大雪による交通障害に警戒・注意。また、大雪による施設への被害、路面や水道管の凍結、屋根からの落雪、停電や倒木、山地ではなだれに注意。雷や竜巻などの激しい突風にも注意。

以上